

きずな

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性を備え、力強く生き抜く生徒の育成」

【ごあいさつ】

4月から、本校に赴任しました、校長の日高和弘（ひだか かずひろ）と申します。



本年度の西岳中学校は、昨年度に引き続き「凡事徹底」し、「自分で考え、行動できる生徒の育成」を最重点事項としながら、自分に自信を持てる生徒を育成していきたいと考えています。

保護者・地域の皆さまのご理解とご協力の下、「地域に根ざした学校運営」を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

「学ぶ意味」が「学ぶ意欲」を引き出す。 ～キャリア教育の進め～

私たち大人は、子どもに対して「将来のために勉強しなさい」とか、「しっかり勉強しないと高校に行けないよ」などという事を言いがちです。でも、こうした言葉は子どもたちの「学ぶ意欲」を十分引き出しているでしょうか？

ある講演会での話です。

学習に対する意欲がなかったR君、将来のことについて考える時間を経験し、「僕は幸せな家庭を築きたい。そのためにはお金を稼がなきゃいけないことは分かっている。でも、どうせ働くなら好きなことを仕事にしたい。小さい頃から物を作ることが好きだったから建築関係の仕事がしたい。」と話し、R君は「建築科のある学校に行って資格を取りたい」という、自分のエネルギーの向かう方向がはっきりと見えてきました。

それからのR君は、猛勉強を始めます。

でも、それまで勉強する習慣がなかったため、途中でテンションが下がってしまいました。

そんなとき、「R君は、幸せな家庭を築くために建築の仕事がしたいんじゃないっけ？」と声をかけると、「そうだった」と我に返るかのような表情になり、再び勉強に取り組みました。

結果、目標にしていた高校よりさらに難しい高校に合格し、今建築に関する仕事に就いています。

自分が「学ぶ意味」を理解することが、「学ぶ意欲」を引き出すのですね。

中学校で将来の夢を決めることは難しいかもしれませんが、自分なりの「学ぶ意味」をもつことは、「学ぶ意欲」につながります。

中学校でも「キャリア教育」といって、将来を考える機会になるような体験等を進めています。

ぜひ、各家庭でも子どもたちと「将来の自分」について話す機会を持っていただきたいと思います。「勉強しなさい」と言うよりも子どもの「学ぶ意欲」をひきだす結果になるかもしれませんよ。



HPをご覧ください

学校の様子を中学校のホームページに掲載しています。下のバーコードを、スマホのカメラで読み取ることでつながります。ぜひ、お試しください。

